

ドイツ連邦食料・農業省プレス公告
Bundesministerium für Ernährung und Landwirtschaft
NO 2 7

NO 2 7

2 0 1 6 ・ 7 ・ 8

1 2 0 1 7 年度ドイツ連邦財政の政府案を閣議決定

ー農業・食料のために良好な展望をー

連邦政府閣議は、今日（7月8日）2017年度連邦財政政府案を決定した。この政府案は、連邦食料・農業省財政（個別プラン 10）に関して、59 億ユーロ（約 7,080 億円）の支出額を予定している。個別プラン 10 は、2016 年度に比較して約 3 億ユーロ（約 360 億円）の増加を示している。連邦食料・農業大臣シュミットは、次年度のために農業ー食料政策に関して、良好な展望をみている。

2017 年度には、もう一度 7,800 万ユーロ（約 93 億 6,000 万円）を、農業事故保険のために準備している。連邦議会は 2016 年度財政について、農業事故保険の連邦補助金の 1 回限りの増額 7,800 万ユーロを決定した。政府案において 2017 年度においても、総額 1 億 7,800 万ユーロ（約 213 億 6,000 万円）を、農業事故保険のために見積もっている。

” これは、ドイツの全ての農業経営のために、良い報告である。この財源をもって経営は、直接的にまた官僚主義的、補足的な支出なしに負担軽減される。

将来的にしっかりとした農村地域は、政策的な重点を保っている。連邦プログラム農村の発展（BULE）のための政策は、2,000 万ユーロ（約 24 億円）と培化した。

共同課題「農業構造と海岸保全の改善（GAK）」は、1,500 万ユーロ（総額 7 億 6,500 万ユーロ（約 918 億円）計画されている。その中には、予防的な洪水防止政策のために、1 億ユーロ（約 120 億円）が含まれている。これは、これまで個別プラン 60(全般的な財政管理)における将来投資プログラムの領域において、計画されていたものである。

” 力強い農村地域無しに健全な農業と健康な家族経営はない。そのため、「共同課題」(GAK)の増額と、連邦プログラム農村の発展(BULE)の強化が重要である”と、シュミットは強調した。持続性の研究そして革新の分野は、さらに強化される。それは、連邦プログラム園芸におけるエネルギー効率性の政策を、2,500万ユーロ(約30億円)に増加させた。

革新の奨励については、1,800万ユーロ(約21億6,000万円)増額して、総額5,700万ユーロ(約68億4,000万円)が計画されている。栄養政策の分野において、特にINFORM(健全な栄養とより多くの運動を)と「ゴミ箱には良すぎる」の政策で達した、高い水準を継続している。さらにマックスループナー研究所(Max-Rubner-Insitut)と連邦栄養センター(BZfE)に、子供の栄養のための新しい研究所設立という方向を打ち出した。

連邦栄養センターは、栄養問題のための専門知識—情報伝達センター、そして農業と栄養に関する連邦行政機関内の独立した組織として、2017年初めに業務を開始する。連邦食料・農業省は、家畜保護の分野において、僅かに増額されて総額3,300万ユーロ(約39億6,000万円)となった。個々に計画されている支出は、以下の別表のとおりである。

2017年度 連邦食料・農業省

基本的な財政支出の分野

目的設定 (要約)	2017	2016	2017/2016 変化	
	100 万ユーロ	100 万ユーロ	100 万ユーロ	%
農業社会福祉政策 (1001 章)	3.917,3	3.814,0	103,3	2,7
内訳一農業高齢者年金	2.235,0	2.170,0	65,0	3,0
農業事故保険	178,0	178,0	0,0	0,0
農地早期譲渡年金	22,0	24,0	-2,0	-8,3
農業者疾病保険	1.450,0	1.410,0	40,0	2,8
高齢者補充金	30,5	30,0	0,5	1,7
農業就業活動休止金	1,8	2,0	-0,2	-10,0
健康上の消費者保護と食料 (1002 章)	161,9	148,7	13,2	8,9
内訳一連邦リスク評価研究所	90,6	82,4	8,2	9,9
連邦消費者保護局 (1017 章)	51,2	46,3	5,0	10,7
消費者情報	16,0	16,0	0,0	0,0
共同課題・農業構造と海岸保全の改善 (1003 章)	756,0	650,0	115,0	17,7
内訳一予防的洪水防止対策の特別計画	100,0	100,0	0,0	0,0
市場組織 緊急事態対応 (1004 章)	170,9	131,6	39,3	29,8
内訳一信用取引融資	6,0	5,0	1,0	20,0
連邦食料・農業局	141,6	106,3	35,3	33,2
緊急事態対応	19,0	16,0	3,0	18,7
持続性 研究と革新 (1005 章)	277,6	238,8	38,8	16,2
内訳一モデルデモンストレーション計画	14,0	14,0	0,0	0,0
有機農業 持続的な農業	17,0	17,0	0,0	0,0
蛋白作物戦略	6,0	6,0	0,0	0,0
連邦プログラム農村地域の発展	20,0	10,0	10,0	100,0
農業・園芸のエネルギー効率性	25,0	15,0	10,0	100,0
再生可能な原料	61,0	61,0	0,0	0,0
革新の奨励	57,0	39,0	18,0	46,2
世界食料のための共同研究	7,0	7,0	0,0	0,0
国際政策 (1006 章)	74,2	74,1	0,1	0,2
内訳一国際貿易関連の強化	3,0	3,0	0,0	0,0
双方技術共同活動	15,0	15,0	0,0	0,0
FAO との共同活動	15,7	15,2	0,5	3,4
国際組織への貢献	33,8	34,3	-0,5	-1,4
国際的な持続的森林管理	7,0	7,0	0,0	0,0

その他の認可 (1010 章)	21,3	21,3	0,0	0,0
内訳ー全般的な支出削減	-57,2	-29,4	27,9	94,9
主要な行政管理支出	103,1	97,4	5,7	5,9
内訳ー給与支出	68,6	64,2	4,4	6,8
連邦省 (1012 章)	95,8	98,0	-2,1	-2,2
管轄分野 (給与含まず)	366,2	350,7	15,5	4,4
一ユリクス・キューン研究所 (1013 章)	89,6	90,3	-0,8	-0,8
フリートリッヒ ローエフラー研究所 (1014 章)	105,8	104,9	0,9	0,9
マックス ループナー研究所 (1015 章)	55,4	53,6	1,7	3,2
ヨハン ハイノリッヒ フォン チューネ研究所 (1016 章)	94,9	78,7	16,2	20,6
連邦種子局 (1018 章)	20,6	23,2	-2,6	-11,1
個別プラン 10	5.896,1	5.595,2	300,9	4,6

2 第 25 回連邦コンクール「わがむらは将来を」の受賞村決定

今日 (7 月 8 日)、連邦審査委員会が、金賞 10 村、銀賞 17 村、銅賞 6 村、合計 33 の村を選出した。金賞を受賞した村は、住民の優れた参画、模範的なアイデアと将来を指向した構想でもって、審査員を納得させた。さらに審査委員会は今年初めて人口変動克服の優れたプロジェクトのために、3 つの特別賞を選出した。この村には、それぞれ 3,000 ユーロ (約 36 万円) の賞金が授与される。

その 3 つの村は、ペーレストート村 (Perlesreut バイエルン州)、ヴェレース村 (Vrees ニーダーザクセン州) そしてザッペン村 (Zappendorf ザクセンアンハルト州) である。審査委員会の決定について、連邦農業大臣シュミット: ”私は全 33 の連邦表彰村を、心からお祝いする。この村々は活動的な村共同体として、自らの故郷のために強い感銘をもたらした。この村の住民は、市民社会的な参画とボランティア的な活動を、より強く魅力的にそして将来を指向して、実践している。

住民の賢明なるアイデアは、農村地域における生活の備え、または難民との調和といった、我々の社会の中心的な挑戦への回答である。農村地域の将来は、自らの運命を自らの手で関与するという、人々にかかっている。賢くそして成果多い村々が、経済的、社会福祉的そして生態系上の村発展に、取り組んでいることに私は強い感銘を受けている” と、シュミットが述べた。

この村のコンクールは、優れたアイデアと地域特有の問題解決、その上他の村々と村共同体のために、モチベーションとモデル性について評価している。昨日、連邦議会で可決された共同課題「農業構造と海岸保全の改善」(GAK一法)の財政上の特別な拡大でもって、農村地域がさらなる魅力を獲得する。インフラ構造と小規模農業経営の新しい奨励の可能性は、農村地域でさらに促進される。”私の目的は、農村に住む人々のために展望を創り出し、そしてその人々の参画をなお強く支援することである。我々は、新しい共同課題(GAK)でもって、遠く困難な道でそして人口変動の進んでいる地域を、支援する”と、大臣が述べた。

イニシアチブとアイデアのために

この村々は、現地での状況下で全く異なる手法と進め方で、魅力的なむらの生活のイメージを発展させた。1つの村は、かつての納屋を若者と高齢者の居住空間に改造し、そして子供の世話または買物の際に、支援する相互活動の基礎を創りだしている。他の村では、ボランティアでの運転業務、多機能ハウス、出会いの場としてのボランティアで運営する「むらのレストラン」、さらに子供のためのマウンテンバイク場の建設でもって、生活を豊かにしている。

他の村は、移住者とその家族が村共同体の中で、国際カフェと企業によって村レベルで統合されている。その際、全ての村々は村発展のための全体的な関心事に、取り組んでいる。この地域は、経済的に優位性を促進させている。

しかしまた、共同社会を強化し地域での日常生活のあらゆる観点を、視野にいられている。

背景情報

連邦食料・農業省は、既に今回も含めて第25回まで、市民的参画と村の全体的発展を、表彰している。この連邦コンクールは、これに村発展のための課題解決のアプローチと、共同体の活動を重視している。このコンクールは、「連邦プログラム農村の発展(BULE)」の構成部分となっており、農村発展の革新的な方法の奨励と試行に役立っている。全ドイツから2,400以上の村々が、熱望しているメダルを手にするために、コンクール「わがむらは将来を」に参加している。全体で33の村が連邦コンクールの最終ラウンドで評価された。

連邦審査委員会は、4 週間かけて村から村へ評価の旅をした。その際、特に発展プロセス、経済的イニシアチブ、社会福祉的そして文化的活動、施設建設の具体化、居住集落の発展並びにその周辺環境の計画と、その具体化に対する住民の参画が評価される。連邦審査委員会の中には、連邦食料・農業省の担当者と並んで、さらに各団体の代表者が入っている：ドイツ郡議会、ドイツ町一地方自治体連盟、ドイツ農民連盟、ドイツ農村女性連盟、連邦園芸一景観一スポーツ広場建設連盟、造園連盟、ドイツ園芸一景観一スポーツ場建設連盟、市民参画ネットワーク並びに故郷と環境連盟

この伝統的なコンクールは、1961 年以来農村発展の確固たる構成要素であり、農村地域の住民に動機づけし、自らの将来展望を決めること、そして農村での生活の質的改善に関与している。このコンクール受賞村の表彰式は、2017 年 1 月ベルリンでの国際緑の週間に、大規模なむらフェステバルの分野において開催される。2016 年むらのコンクールのさらに詳しい背景情報は、www.bmel.de/dorfwettbewerb で入手できる。そこでは、特に参加している全ての村の情報でもって、簡単なプロフィール並びに評価規準とコンクールの経過について、知ることができる。

2016・7・12 訳 青森中央学院大学 中川 一徹
